

鳥インフルエンザを怖がらないで

高病原性鳥インフルエンザの感染が国内外で続き、世界中の注目を集めています。2008年の4月から5月には東北や北海道でオオハクチョウが感染したことから、この冬には各地でハクチョウへの給餌が自粛されるようになりました。ところが、鳥の病気であるにもかかわらず、人がすぐにでも感染するかのような誤解も生じています。鳥インフルエンザはどのような病気で、私たちが気をつけるべきことはなにか、野鳥の生態や動物の病気の専門家から実際の感染と野鳥の生態との関係や傷病鳥対応について話を聞きます。

日時：1月28日 午後1時30分（開場午後1時）から4時

場所：都立東京港野鳥公園・ネイチャーセンター視聴覚室

定員：70名（対象：主に高校生以上）

参加費：無料（入園時に入園料300円、65歳以上150円が必要です）

参加申し込み：不用 直接ネイチャーセンターにおいでください。

プログラム

野鳥と高病原性鳥インフルエンザ 金井 裕（財団法人日本野鳥の会） 1時間

高病原性鳥インフルエンザの発生状況と野鳥の渡りや生態との関係について、世界的な感染の拡大と鳥の渡りや生態との関係や日韓の高病原性鳥インフルエンザ発生地の環境と感染経路について報告し、今後の対策や野鳥の保全について考えます。

鳥インフルエンザについて聞かれたら 石橋 徹（野生動物救護獣医師協会）1時間

実際に傷病野鳥や家禽の治療を行う獣医の立場から、高病原性鳥インフルエンザはどのような病気であり、病気の鳥といった場合にどうしたら良いかお聞きします。

質問コーナー

参加者からの質問にお答えします。

主催：都立東京港野鳥公園指定管理者日本野鳥の会グループ

共催：NPO 法人野生動物救護獣医師協会



交通案内

JR浜松町駅から東京モノレールで「流通センター」下車徒歩15分
JR大森駅東口、京浜急行平和島駅から京浜島・昭和島・城南島循環の京浜急行バスで「野鳥公園」下車徒歩5分

問い合わせ先

東京港野鳥公園管理事務所

〒143-0001 東京都大田区東海3丁目1番

電話：03-3799-5031

<http://www.wbsj.org/sanctuary/tokyoko/index.html>